

議事録

日 時	令和 5 年 6 月 23 日（金） 10：00～12：00	
場 所	河内長野市役所 5 階 501 会議室	
議 題	令和 5 年度 第 3 回 河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	8 名
	事務局（河内長野市政策企画課）	3 名
	設計 JV（梓設計、現代ランドスケープ）	4 名
資料等	<p>【資料1】 マスター工程表(案)</p> <p>【資料2】 配置計画検討資料</p> <p>【資料3】 園路・広場舗装計画検討資料</p> <p>【資料4】 植栽計画検討資料</p> <p>【資料5】 雨水排水計画検討資料</p> <p>【資料6】 電気設備計画検討資料</p> <p>【資料7】 にぎわい施設・テラス計画検討資料</p> <p>【資料8】 クラブハウス計画検討資料</p> <p>【資料9】 トイレ計画検討資料</p>	
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. 案件</p> <p>（1）マスター工程（全体スケジュール）について確認。【資料 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング調査期間は 7/3～7/20 を予定。 ・市民説明会の日程は 7 月末で調整中。 ・第 1 回南花台サロンの日程は、台風による延期のため 7/15(土)に変更。 <p>以下、推進委員会意見を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの日程が後倒しになると住民の意見を設計へ反映することが難しくなるため、ワークショップとは別に公園の使い方について意見を聞く場を検討してほしい。 ・7 月の市民説明会の他に、追加で市民説明会を開催することは可能か。 （事務局より回答） ・7 月の市民説明会は敷地の近隣住民にむけた説明会で、整備後のスタジアムの光害対策や騒音対策について説明。8 月に地域全体に向けた市民説明会を開催予定。 <p>（2）全体計画の変更点・前回からの変更点を説明。内容は以下の通り。【資料 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ形状を修正 ・南側スロープの形状を修正 ・にぎわい施設周辺の形状を修正 <p>（3）園路・広場舗装計画について説明。【資料 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園路、広場はバリアフリーに配慮し 1/20 勾配で公園全体にアクセスできる計画。 	

- ① 園路舗装：自然色アスファルト
- ② エントランス広場舗装：ブロック舗装
- ③ 遊び場・多目的広場舗装：人工芝、樹皮、真砂土、ゴムチップ等
- ④ 駐車場舗装：密粒アスファルト舗装

以下、推進委員会意見を記載

- ・ピロティや多目的広場は、キッチンカーが乗り入れるためブロック舗装のイメージだった。ピッチや広場との関係性もふまえて再度舗装を検討してほしい。
- ・クラブハウス東側の舗装については、使用するブロックの種類を絞って色や素材感を極力統一させて再度検討してほしい。
- ・舗装ブロックは照り返しを極力抑えるため、明度を落とした色味としてほしい。
- ・舗装ブロックはパターン張が目立ちすぎない落ち着いた舗装としてほしい。
- ・多目的広場の人工芝と一般駐車場のアスファルトの取り合い部の納まりを検討してほしい。

(JVより回答)

- ・今回の意見を踏まえ次回推進委員会で提案図面を提示する。

(4) 植栽計画について説明。【資料4】

- ・河内長野の豊かな森林に馴染む高木を中心とした植栽計画。
 - ① Aゾーン北側・南側：並木（カツラ等）
 - ② クラブハウス周辺：緑陰樹（ケヤキ、エノキ等）
 - ③ こども園南側：どんぐりの森（コナラ、クリ、カエデ等）
 - ④ にぎわい広場：シンボルツリー（クスノキ等）
 - ⑤ 外周部：常緑樹、落葉樹（ヤマザクラ、ソヨゴ等）

以下、推進委員会意見を記載

- ・周辺住宅地へ極力葉が落ちないように、落葉樹は防球フェンスの内側が望ましい。
- ・カツラ並木とフェンス支柱を同じピッチに合わせた方が景観上良いのではないか。
- ・ヤマザクラにつく毛虫等の害虫やクリのいがで怪我をする可能性があるため、安全対策を考えてほしい。
- ・植栽が少ない印象なので、Bゾーンや外周部の植栽を増やした方が良い。

(JVより回答)

- ・並木とフェンス支柱を同じピッチに計画すると、植栽が高ポール灯の照明光を遮り歩道の照度の確保が難しい。園路の照明は低ポール灯で再度検討する。
- ・こども園の園長へのヒアリングにて、クリ等の実のなる木を植えることに対しては賛同いただいている。公園全体で害虫の付きにくい樹種を選定する。
- ・管理面を考慮すると植栽は少なめが望ましいと以前市より要望があった。植栽の量を増やす方針で検討を進める。

(5) 雨水排水計画について説明。【資料5】

- ・公園の景観に馴染むよう、砂利側溝や暗渠排水管による排水を中心とする。
- ・敷地南側の放流最終柵付近に、小規模雨水貯留池として砂利溜め柵を設ける。
- ・建物屋根排水は一部貯留し、花壇や畑の散水に活用する。

以下、推進委員会意見を記載

- ・砂利溜め柵はベンチと一体でデザインするなど、景観に馴染むよう検討してほしい。
- ・砂利溜め柵の放流箇所1（Aゾーン南東角）の位置が交差点と近接しているため、現計画より内側の位置で再度検討してほしい。
- ・敷地全体を通して勾配が小さい印象だが、砂利側溝で排水能力は確保できているか。（JVより回答）
- ・砂利側溝の下部（地中）に暗渠配管を整備し、表面の砂利側溝だけで排水能力が不足している場合は暗渠配管と両方で排水を行う計画。

(6) 電気設備計画について説明。【資料6】

- ・園路・広場は平均3ルクス以上確保し、夜間の安全性に配慮
- ・エントランスやシンボルツリーは、ライトアップ照明で象徴的に演出
- ・にぎわい施設周辺には太陽光電池式照明を設置し、災害時の利便性を図る
- ・にぎわい広場・多目的広場には、イベント等に活用可能な電源設備を設置

以下、推進委員会意見を記載

- ・歩道空間は低ポール灯で下から植栽を照らす計画の方が良いのではないか。
- ・電源設備は利用者にヒアリングを行った上で位置を検討してほしい。
- ・季節やイベント時に調光できるよう、照明の調整盤の設置を検討してほしい。
- ・災害対応照明は避難経路等を考慮して位置・規模を検討してほしい。
- ・にぎわい広場の中央には電源設備は設置しない方針か。

(JVより回答)

- ・にぎわい広場中央に電源コンセントを設けるとイベント時に障害となるため、園路沿いに設置する想定。電源の位置、箇所数は今後ヒアリングを行い検討を進める。
- ・園路の照明は低ポール灯で照らす方針で再度検討を行う。

(7) にぎわい施設・テラス計画について説明。【資料7】

- ・商工会への出店意向アンケートの結果、19社中8社の事業者から出店意向があると回答があった。(6/23時点)
- ・事業者へ委託する区分や内容を検討し、次回推進委員会にて提示予定。
- ・にぎわい施設のテラスは、屋外テラス席や広場の見守り空間として利用可能。
- ・イベント時にはテラスをステージとして利用可能。

以下、推進委員会意見を記載

- ・屋根付き広場を一部人工芝舗装とした方が子どもが座って遊びやすい。
- ・砂場の一部にも屋根がかかる計画とした方が夏季も利用しやすい。
- ・にぎわい施設のテラスについて、柵の設置や机の出し入れなど運用方法やセキュリティを検討してほしい。
- ・にぎわい施設のテラスをステージ利用すると施設に背を向けるため望ましくない。テラスを観客席として別の場所にステージを設けるなど、ステージ利用時のレイアウトを検討してほしい。
- ・事業者が建物整備も行う場合、現在の施設計画から変更が生じる可能性はあるか。

賑わい施設の整備区分を検討してほしい。

(JVより回答)

- ・現計画では本事業内で賑わい施設まで整備するという仮定で計画している。事業者が建物整備を行う場合は、賑わい施設と屋根付き広場を分離して計画し、屋根付き広場のみ本整備で設計するなど、整備区分について市と検討を行う。
- ・テラス以外の場所で、ステージ利用できる設えを検討する。

(8) クラブハウス計画について説明。【資料8】

- ・スペランツァ大阪より受領した要望を反映している。変更点は以下の通り。
 - ①東側に廊下を追加 選手のセキュリティ、プライバシーに配慮
 - ②授乳室を北側に移動 VIP ラウンジ、公園利用者スペースと連携
 - ③南北の公衆トイレのそれぞれに男女トイレを計画
 - ④ピロティに面する諸室は折れ戸で計画 開放するとピロティと一体的利用可能
 - ⑤ピロティ周囲に管理用フェンスを設置

以下、推進委員会意見を記載

- ・室外機は景観に配慮した配置としてほしい。
- ・ピロティ、多目的広場、クラブハウス東側の階段の幅は極力揃えた方が良い。
- ・有料試合時のセキュリティラインを教えてください。

(JVより回答)

- ・有料試合時は、観客は北側の園路出入口からメインスタンドにアクセスし、クラブハウス内は関係者が使用する計画。

(9) トイレ計画について説明。【資料9】

- ・公園全体で計50個の器具数を計画
 - ：クラブハウス(22個)、Aゾーントイレ(14個)、Bゾーントイレ(14個)
- ・A・Bゾーントイレは花びらをモチーフとした曲面形状の大屋根をかけた外観
- ・園路に面してベンチを設置し、休憩所やバス待合スペースを兼ねた計画
- ・公園機能に隣接するBゾーントイレには、授乳室と手洗い・足洗い場を設置

以下、推進委員会意見を記載

- ・待合スペースや休憩所を兼ねた居場所として整備する方針が良い。
- ・園路側に手洗いを設けた方が公園利用者が利用しやすい。
- ・Bゾーントイレが往来の多いバス停の正面にあると利用時に視線が気になるため、公園中央部への配置を再度検討してほしい。
- ・人通りが多い位置にトイレを計画する方が、性犯罪防止などの観点からみても安全で望ましい。
- ・目隠し壁の設置や、トイレ出入口を側面に設けるなど、プライバシーに配慮した計画としてほしい。
- ・清掃の頻度など維持管理方法を併せて検討してほしい。
- ・既存バス停の屋根を撤去し、Bゾーントイレをバス待合スペースと兼用できないか。
- ・授乳室は女性専用の想定か。

	<p>(JVより回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・授乳室のブース内は女性専用とし、調乳機のある前室は男性も利用可能。 <p>(事務局より回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・バス停の撤去についてはバス会社との協議が必要。 <p>3. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--